

令和4年度 見附市立今町中学校 学校たより

〈第9号〉 令和4年11月30日

TEL 66-2371 FAX 66-6846

ホームページは「今町中学校」で検索

E-mail imachu@mitsuke-ngt.ed.jp

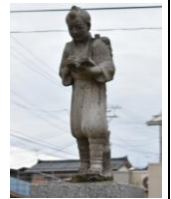
# 石の門

## 今町中学校 創立75周年 ～母校への愛着と誇り～

校長 星野 晴重

今年、中学校創設75周年の年です。1947年（昭和22年）、戦後の6・3制の義務教育のスタートとともに、全国各地に中学校がつけられました。ですので、今年75周年を迎える中学校は全てその時につくられた日本で最も古い中学校ということになります。今町中学校もそのうちの一枚ということ。この歴史と伝統のある今町中学校の歩みを、今の生徒たちに少しでも伝えたいと思い、11月22日の全校朝会で今町中学校の歴史をクイズ形式で紹介しました。内容はおよそ次の通りです。

- ・ 今町中学校は、今から75年前（1947年）5月につくられた。当時は、今町町立今町中学校。現在の場所に小学校があり、その校舎の一部を使って始まった。
- ・ 創立後、しばらくは、石の門を通ると小学生は右に中学生は左にそれぞれの玄関に向かい、それぞれの校舎で学んだ。体育館やグラウンドは一緒だった。
- ・ 創立当時から現在まで残っているものとして、石の門と二宮金次郎の像がある。
- ・ 見附町が見附市となり、今町が合併し、昭和31年、見附市立今町中学校となった。
- ・ 小学校が現在の場所に移り、それまでの木造校舎が取り壊され、昭和51年、現在の校舎が完成した。昭和63年には、体育館、特別教室棟が新築された。
- ・ 平成9年、創立50周年を記念して、「トライウォーキング」が始まり、平成19年まで続いた。平成19年の創立60周年時には「ワンディマッチ」が始まった。
- ・ 今町中学校の校章は、「ペン先」、「凧」、「雪」、「太陽」がイメージされ、それぞれ「学問・文化」、「ファイト・飛躍」、「清純」、「情熱」を意味していて、そのデザインは創立当時の生徒が考案したものである。



今町中学校は、46年前に木造校舎から建て替えられてはいますが、75年前の創立当時からずっと現在の場所にあります。「場所を移さず、ずっとある」、これは、なかなかない、すごいことだと思います。校歌にも歌われている「石の門」は、大正13年、当時の今町小学校の校門としてつくられたと言いますから、その歴史の重みたるや、さらに驚きです。今町小学校も創立150周年を迎える、明治初めに全国に小学校がつくられるという時につくられた小学校です。

全校朝会では、「今町の小学校も中学校も地域の方々の熱い思いと多大なる理解と協力によって、早くにつくられ、脈々と歴史と伝統を刻んできています。ぜひ、生徒の皆さんには今町中学校への愛着と今中生としての誇りをもってほしい。今町や今町中の素晴らしさを語れる人になってほしい。」と結びました。しかし、言ったからといってすぐに愛着や誇りがもてるというものではありません。

先日行った科学講演会でロボコンの講演をしてくれた長岡技科大の学生さんが、講演の中で今町とのかかわりを話してくれました。親戚が今町にいるそうで、凧合戦や今町のグルメなどをとてもうれしそうに話していました。校長室で話をしたときには土人形のこと、自分の出身である長岡の中学校、高専のこと、どの話もすべて明るく、楽しそうに話してくれました。自慢げに話をするのではなく、そのよさ、すばらしさを話すのです。科学部がつくったロボコンを見てもらった時は時間を忘れて話し込んでくれました。彼の話しぶりを見聞きしていると、いい思い出だけではなく、自分のやっていること、やってきたこと、学校のことなど、どれも前向きにとらえ、発信している、そして人とのかかわりを大切にしていると感じました。愛着や誇りは、自分や周囲のことを好きになり、明るく前向きに過ごしていくこと、何事にも関心を持ち、かかわっていくこと、そうした中で自然に身に付いていくことなのかなと思いました。

見附では11月13日～26日が「子育て家族の週間～子どもと過ごそう家族で語ろう～」でした。全校朝会の話を受けて、中学時代の話、今町中学校の話などがお子さんから家族の話題の一つにしてくれていたらうれしいです。今町中学校の歴史について私なりに調べましたが、内容に誤りや補足等がありましたら、ぜひともお聞かせ下さい。

## 今町中学校 科学部の2チームが優勝、準優勝

11月3日に行われた新潟県創造アイデアロボットコンテストに今町中学校科学部が2チーム出場し、それぞれ優勝、準優勝に輝きました。メンバーは2チームとも全員1年生です。9日の学年朝会でその技を実演してもらいました。その時のコメントの一部を紹介します。

### ■科学部からの説明

科学部は、11月3日のロボットコンテストの応用部門で優勝と準優勝を獲得しました。

科学部は先輩がいないので、ロボットを作るとき、先生のアドバイスを聞きながら、部活のみんなで何回も作り直して頑張りました。ロボットを作るときに気を付けたことは2つあります。

1つ目は車検です。車検とは、ロボットの大きさの制限です。これに外れると試合に出られないので、大きさを考えながら作りました。

2つ目は、強度と速さのバランスです。ロボットを作るとき、ギアボックスやモーターを使います。強さが上がると速さが落ちる仕組みになっているので、部品ごとにどのバランスがよいか工夫しました。



ロボコン当日の様子

優勝、準優勝した2チームとも12月4日に行われる関東甲信越大会に出場します。さらなる活躍を期待しています。(なお大会はリモートで、各都県の会場を繋いで行います。新潟県の代表チームは長岡市の東北中学校に集まります。)

## 科学講演会 ～学生が地域を巻き込んで挑戦する新たなロボコンとは？～

11月15日に科学講演会が行われました。毎年、今町まちなかコミュニティのご尽力で行われており、今年は長岡を中心に活動している「Phoenix Robots」という団体の活動の紹介と、ロボットの操作体験という内容でした。この団体は長岡技科大、新潟大、長岡高専らの学生で活動しており、中国で行われているロボットのeスポーツ、「RoboMaster」という大会に参加し、2020年3位、2021年1位という実績を残しています。また、その運営も学生が担っており、様々な企業などから支援を受けているそうです。ロボット操作体験では、希望が多くありましたが、そのなかで選ばれた生徒が代表し、慎重に操作していました。生徒の感想を紹介します。

・ロボットについて楽しく学ぶことができた。細かい部品を組み合わせるの大変だと思ったし、ロボットに興味があった。  
・長岡にロボットを作るチームがあったなんてびっくりしました。あのロボットを作るのに、どれだけの苦勞が詰まっているかがよくわかりました。



## 授業参観日 ～スクールアカウンタビリティ in みつけ2022～

11月20日の午前は、見附市内の全ての小・中・特別支援学校で授業公開しました。今町中学校では、感染症拡大防止措置のため、来校される保護者の皆様を2限と4限に分けての授業公開とさせていただきます。ご来校いただいた皆様、大変ありがとうございました。当日は、教科の授業だけでなく、1年生は学級活動、2年生は総合的な学習の時間、3年生は進路学習と、様々な学習場面をご覧いただきました。1年生の学級活動は班の話し合いや交流活動、2年生の総合的な学習の時間は職場体験の成果発表、3年生の進路学習は模擬面接でした。体育祭、合唱コンクールといった学校行事で素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれた生徒たち。発表力・表現力は、行事はもちろん、日々の授業や生活で培われていくものであり、自らの進路を切り拓いていくためにも大切な資質・能力です。これからも生徒のもてる力を引き出していきたいと思っております。



1年生 学級活動



2年生 総合的な学習の時間



3年生 進路学習